

安全データシート



SANYO KASEI

2020年1月14日

作成
改定

管理番号 9001301

1. 製品及び会社情報

製品名称 : スーパーソフトホース用材料 TS4270
 会社名 : 株式会社長野三洋化成
 住 所 : 長野県東御市滋野甲2305
 担当部門 : 技術開発部
 電話番号 : 0268-62-1631 FAX番号 : 0268-62-4042
 緊急連絡先電話番号 : 株式会社長野三洋化成 技術開発部
 電話番号 : 0268-62-4043

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 高温・長時間の加熱により一酸化炭素発生の恐れあり。
 物理的、化学的危険性 : 常温において安定である。
 特定の危険有害性 : 特に無し。

G H S 分類

物理化学的危険性 : 分類対象外

健康に対する有害性 急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 区分2B
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 区分1B
 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性 水生環境急性有害性 : 分類できない
 水生環境慢性有害性 : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 危険有害性情報 眼刺激
 および注意書き 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 取り扱い後は水と石けんでよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当
 を受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理
 業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報	単一製品・混合物の区別	: 混合物
	化学名又は一般名	: ポリ塩化ビニルを主成分とする混合物

基材組成

構成組成物(化学物質名又は一般名)	CAS No.	(%)
1 ポリ塩化ビニル他	9002-86-2/Others	<60
2 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	<45

顔料組成

色名	構成組成物(化学物質名又は一般名)
1 GREEN	銅化合物[非公開]

危険有害成分情報

法規制	No.	物質名	含有率(%)
労働安全衛生法指定物	481	DEHP	41
PRTR法指定物質	355	DEHP	41

国連分類 : 国連分類に該当しない

4. 応急処置	吸入した場合	: 洗浄水でうがいをする。多量に吸入した場合は 医師の診察を受ける。
	皮膚に付着した場合	: 石鹼水又は水で洗浄する。異常があれば医師の 診察を受ける。
	目に入った場合	: 目をこすらず、直ちに水で洗浄する。もし、異常 があれば医師の診察を受ける。
	飲み込んだ場合	: 多量に飲み込んだ場合は医師の診察を受ける。
	最も重要な徴候及び症状に 関する簡潔な情報	: 高温で塩化ビニル樹脂を成形していると樹脂が 分解して塩化水素等の有害性ガスを発生するこ とがある。目や喉に異常を感じた時は直ちに新鮮な 空気のある場所に移動する。又、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置	消火剤	: 散水、ドライケミカル、泡
	使ってはならない消火剤	: 特になし

	火災時の措置に関する特有の危険有害性	: 燃焼すると有害性ガスを発生する。ガスの主成分はHCl、CO、CO ₂ である。
	特定の消火方法	: 空気呼吸器を着用して消火作業に当る。
	消火を行う者の保護	: 防護メガネ、空気呼吸器を着用する。
6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	: 通常は特に必要としないが、防護メガネを着用するのが望ましい。
	保護具及び緊急時措置	: 手袋、保護マスク、ゴーグル等を着用し作業に当る。
	環境に対する注意事項	: 飛散物の再飛散防止の処置をとり、排水溝、川への流入を防止する。
	回収方法	: 飛散したものをかき集めて空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	取扱い	
	技術的対策	: 取扱いは換気の良い場所で行い、防護メガネ及び防護マスクを着用する。火気を近づけない、飛散させない。
	安全取扱い注意事項	: 必要に応じて局所排気装置を設置する。
	保管	
	技術的対策	: 通常は特に必要としない。
	混触禁止物質	: 通常は特に必要としない。
	保管条件	
	適切な保管条件	: 直射日光を避け、局所廃棄設備を有し、外気温の影響を受けない換気の良好な冷暗所に保管する。
	避けるべき保管条件	: 直射日光が当り、換気の悪い高温多湿での保管を避ける。
	推奨容器包装材料	: 紙袋、アルミ袋、プラスチック容器、金属容器等で保管する。
8. 暴露防止及び保護処置	設備対策	: 飛散しやすい場所には、掃除機等を設置するのが望ましい。
	保護具	
	呼吸器の保護具	: 作業時には防護マスク、火災時には空気呼吸器。
	手の保護具	: PVC又はゴム製手袋を使用するのが望ましい。
	目の保護具	: 防護メガネを使用するのが望ましい。
	皮膚及び身体の保護具	: 防護服、安全靴を着用するのが望ましい。
9. 物理的及び化学的物質	物理的状態	
	形状、色、臭い	: ペレット状の固体
	色	: 指定色
	臭い	: 僅かに特有の臭い
	pH	: 適用外
	融点	: 明確な融点は無く、広い温度範囲で溶融。
	沸点	: 該当せず (200～300℃で分解)
	比重 (真比重)	: 1.21 ±0.03 (23℃)
	溶解度 (溶解性)	: 水には不溶。殆どの有機溶媒に不溶であるが、ケトン類、THF類には溶解する。
	発火温度	: 情報なし
	可燃性	: あり(消防法: 指定可燃物)
	発火性	: 常温では発火しない。
	酸化性	: 常温では安定な物質である。
	粉塵爆発性	: ペレット状の為、その可能性は非常に低い。
10. 安定性及び反応性	安定性	: 通常の手扱いにおいて安定である。
	反応性	
	特定条件下で生じる危険な反応	: 常温において安定である。
	避けるべき条件	: 火気に近づけない、飛散させない。
	避けるべき材料	: 通常は特に必要としない。

混触危険物質 : 通常の取扱いにおいては無い。
 危険有害な分解生成物 : 燃焼すると刺激性のガスを発生する。ガスの主成分はHCl、CO、CO₂である。

11. 有害性情報	急性毒性	: 情報なし
	皮膚腐食性・刺激性	: 情報なし
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 情報なし
	呼吸器感作性	: 情報なし
	皮膚感作性	: 情報なし
	生殖細胞変異原性	: 情報なし
	発がん性	: 情報なし
	生殖毒性	: 情報なし
	特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: 情報なし
	特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: 情報なし
	吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
12. 環境影響情報	生態毒性	: 情報なし
	残留性/分解性	: 環境中で容易に分解しない。
	生体蓄積性	: 蓄積しないものと考えている。
	土壌中の移動性	: 情報なし
13. 廃棄上の注意	製品	: 排ガス処理装置付きの焼却設備(800℃)にて焼却し、又は非危険廃棄物として埋め立てる。
	残余廃棄物	: 非危険廃棄物として埋め立てる。
	汚染容器、包装	: 排ガス処理装置付きの焼却設備(800℃)にて焼却するのが望ましい。
14. 輸送上の注意	陸上	: 容器の破損及び荷崩れ防止に注意する。
	内陸水路	: 特になし
	海上	: 特になし
	航空	: 特になし
15. 適用法令	化審法	: 既存化学物質
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物(廃棄物として処理する場合の分類)
	高圧ガス保安法	: 適用を受けない。
	消防法	: 指定可燃物
	毒劇物取締法	: 適用を受けない。
	船舶安全法	: 適用を受けない。
	輸出貿易管理令	: 適用を受けない。
16. その他の情報	1) 伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会 2) IARC“ IARC Monographs on the Evaluation of carcinogenic Risks to Humans” Vol 1～56 1972-1993 ～記載内容の取扱い～ 記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づき作成しておりますが、物理化学的性質・危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。 又、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を施してください。	